

事務事業評価シート

(H.30)No.	1473	(H.29)No.	1473
-----------	------	-----------	------

事務事業名	名張市くらしあんしんサポーター(防災)育成事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
市民部	市民相談室	中川 紀代美	

会計区分	事業コード	025905
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	地方消費者行政推進事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 地域振興費	くらし安心サポーター(防災編)育成推進事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり
	施 策	1	防災・減災
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
非常時(災害時)の際、市民一人一人が、名張市の地域ネットワークの特性を活かし、地域での特徴を捉えた「合理的行動を实践できる市民」を目標に「名張市くらしあんしんサポーター(防災)」育成のための消費者教育推進事業を実施
事業内容
国の地方消費者行政活性化交付金による県の消費者行政活性化基金を活用した事業を展開する。 ○地域づくり組織、食に関する取組団体等と連携して下記事業を実施 ・「非常時ごはん講座(調理実習)」の実施 ・「防災に関する消費者意識調査」を実施し統計分析 ・「名張市くらしあんしんサポーター(防災)育成事業講演会」の実施 ・防災に役立つレシピ等が入った冊子の作成と配布

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)	H.30年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	非常時(災害時)における合理的行動のための消費者教育推進事業 4,223,411円 賃金:1,762,231円 報償費:146,560円 消耗品費:844,000円 食糧費:220円 委託料:1,470,400円 非常時ごはん講座 197人参加 講演会「日常防災を考える」 112人参加 防災に関する意識調査、分析 383枚回収 名張くらしあんしんお助け帳 防災編の作成、配布 10,000部	

H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		4,224千円					
内訳(千円)	国・県支出金		4,224				
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	0	0	0	0	0
人工数	職員		0.20人				
	臨時職員等		0.97人				
②概算人件費	0千円	3,226千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	0千円	7,450千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
「食を通じた身近な防災」をテーマに自身で判断できる自立した消費者を目指し、家庭にある常備品を使い、食品ロスを出さない賢い消費者となり、被災時に手軽でおいしく調理する方法について学び、「被災時にくらしの質を高める」ことができるよう講演会を実施、消費者教育の推進を図り、「名張市くらしあんしんサポーター(防災)」としての消費者教育の担い手を育成するために本事業を実施した。一人一人の市民が活動する消費者としての意識を持ち、市民総ぐるみでの消費者被害を防ぐ取組の気運を高める効果が図られた。地域づくり組織、名張市消費生活協議会等からなるネットワークプロジェクトの組織の参加により一層連携・協働が図られた。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
---	------------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
行事参加者には「名張市くらしあんしんサポーター 防災」缶バッジを配布し、身近なところから災害リスクに備え、地域での活動に活かせるよう意識付けを図った。意識調査で得られた結果を確認し、名張市くらしあんしんサポーターが担い手となり地域で活躍してもらうためのサポート体制が必要です。

6. 事務事業の取組に関する市の計画